製品安全データシート

Ethyl Acrylate

版番号 1.06　　改訂日 26.07.2024

項目 1. 化学物質等及び会社情報

製品識別名	
商品名	Ethyl Acrylate
別名	Acrylic acid ethyl ester, Ethoxy carbonyl ethylene; Ethyl-2 propenoate
製品コード	5012
CAS番号	140-88-5
物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途	
使用	工業用途.
製造元あるいは供給元の詳細	
会社名	Sasol Chemicals, a division of Sasol South Africa Ltd
住所	Sasol Place, 50 Katherine Street Sandton 2090 South Africa
電話番号	+27103445000
電子メールアドレス	sasolchem.info.sa@sasol.com
供給者の詳細情報	サソールケミカルズジャパン株式会社 東信商事ビル5階 東京都中央区京橋2丁目12番6号 〒, 104-0031 日本
電話番号	+81 - 3 - 6263-2061
電子メールアドレス	info.sg@sasol.com
緊急時の電話番号	
緊急連絡電話番号	+44 (0)1235 239 670 (Europe, Israel, Africa, Americas)

+44(0)1235 239 671 (Middle East, Arabic African countries)

+65 3158 1074 (Asia Pacific)

+86 400 120 6011 (China)

+27 (0)17 610 4444 (South Africa)

0800 112 890 RSA-Local only

+61 (2) 8014 4558 (Australia)

項目 2. 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

GHS 分類

	JIS Z7252-2019 及び JIS Z7253-2019 に 従った GHS 分類及びラベル表示(GHS 2015)	
類別	引火性液体	区分 2
	急性毒性（経口）	区分 3
	急性毒性（吸入）	区分 3
	急性毒性（経皮）	区分 3
	皮膚腐食性 / 刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分 2
	皮膚感作性	区分 1
	発がん性	区分 2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1
	水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H301 + H311 + H331 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合や吸入した場合は有毒。
H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H351 発がんのおそれの疑い。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き : **安全対策:**
P210 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。–禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地すること / アースをとること。
P241 防爆型の【電気機器 / 換気装置 / 照明機器 / 機器】を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置:
P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水 / シャワーで洗うこ

と。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。
P337 + P317 眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤 (ドライケミカル) 又は耐アルコール性フォームを使用すること。
P304 + P340 + P317 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医療機関で診察を受けてください。
P305 + P354 + P338 + P317 眼に入った場合：数分間水ですすいでください。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医療機関で診察を受けてください。
P301 + P317 + P330 飲み込んだ場合： 医療機関で診察を受けてください。 口をすすぐこと。
P391 漏出物を回収すること。

保管:
P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄:
P501 内容物および包装の廃棄については、認定施設において地域、地方、国、および国際基準に従って行うこと。

他の危険有害性

この物質 / 混合物は 0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質（PBT）または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質（vPvB）と懸念される物質を含有していない。
この物質 / 混合物は 0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質（PBT）または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質（vPvB）と懸念される物質を含有していない。

項目 3. 組成、成分情報

危険な成分

Ethyl Acrylate
内容物: 100.00 %W/W
CAS番号 140-88-5 **索引番号** 607-032-00-X **EC番号** 205-438-8
危険有害性情報 *H225 H301 H331 H311 H315 H319 H317 H351 H335 H336 H372 H411*

項目 4. 応急措置

必要な応急手当の記述

吸入	蒸気を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。 呼吸が不規則であったりとまったりした場合は、人工呼吸を行う。 直ちに医師を呼ぶ。
皮膚接触	汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。 汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、直ちにこの容器またはラベル を医療機関に見せ指示を求める。 医師の指示がない場合は吐かせない。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。

最も重要な急性及び遅発性の症状 / 影響

参照する 項目 11

項目 5. 火災時の措置

適切な消火剤	耐アルコール泡消火剤 粉末消火剤 二酸化炭素（CO2）
使ってはならない消火剤	ウォータージェットは使用しない。

特有の危険有害性	かなりの距離にわたり逆火が考えられる。 区域から退避させること。 温度が上昇すると、暴走反応が発生します。 制御されていない重合は、爆発につながります。
消火を行う者の保護	自給式呼吸装置と保護服を着用する。

項目 6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置	こぼれやもれが起きている場所から風上に避難させる。 付近の発火源となるものを取り除く。 蒸気やスプレーミストを吸い込まない。 物質で滑りやすい状態となる可能性がある。
環境に対する注意事項	環境中に排出してはならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
除去方法	不活性の吸収材に吸収させ、有害な廃棄物として処分する。
他のセクションを参照	参照する セクション 8 そして 13

項目 7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い	保護具を着用する。 皮膚や眼への接触を避けること。 発火源から離しておいてください－禁煙。
火災及び爆発の予防	防爆型の機器を使用すること。静電気対策のための予防措置を講ずる排水口に立ち入らないでください（爆発の危険性があります）。防爆装置が必要です。静電気放電による発火を回避するために、装置の金属部分をすべて接地する。熱や発火源から遠ざける。蒸気は空気と混合して爆発性になることがある。発火源から離しておいてください－禁煙。
保管場所および容器の必要条件	安定剤は、酸素の存在下でのみ有効である。低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。熱から遠ざける
一般的な保管について	涼しい、換気の良い場所で保管する。

項目 8. ばく露防止及び保護措置

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

国家職業暴露リミット値

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

曝露防止

設備対策

作業室の換気や排気を十分に行う。

保護具

呼吸器の保護	通気が不十分な場合は、適切な呼吸装置を着用すること。
手の保護具	長期の接触に適した手袋: 材質: ブチルゴム 破過時間: 142 min 物質の厚さ: 0.7 mm 推奨: ブチルゴム手袋の内側にインライナーまたは綿手袋を使用します。
眼の保護具	サイドシールド付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服 安全靴
衛生対策	休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

項目 9. 物理的及び化学的性質

基礎物理および化学特性の情報

形状	液体
物質の状態	液体; で 20 °C; 1,013 hPa
色	無色
臭い	刺激臭

臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	非該当
融点/ 範囲	< -75 °C
沸点 / 沸騰範囲	100 °C; ASTM D86
引火点	9 °C; ASTM（米国試験材料協会） D 93; 密閉式引火点試験;
蒸発速度	データなし
燃焼性（固体、ガス）	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし

爆発範囲の下限	1.7 %(V)
爆発範囲の上限	13 %(V)
蒸気圧	39.1 hPa; 20 °C
相対ガス密度	3.45
密度	0.921 g/cm3; 20 °C; ASTM D4052
水溶性	部分的に溶ける
n-オクタノール / 水分配係数（log 値）	データなし
動粘度（動粘性率）	0.62 mm2/s; 20 °C; ASTM（米国試験材料協会） D 445

項目 10. 安定性及び反応性

反応性	通常の状態では安定。
化学的安定性	推奨保管条件下では安定。
危険有害反応可能性	火災と爆発のおそれを伴い重合する。 白色光、紫外線または熱に暴露すると重合が起こる。 禁止剤がなくなると危険有害な重合が起こることがあり、密閉容器では温度と圧力が上昇することがある。 安定化されたサソルエチルアクリレートの自己加速重合温度（SAPT）は、米国のKinetica Laboratoriesで、様々なパ

	ッケージサイズ（ドラム、アイソタイナー、1000および3000m3タンク）で測定され、すべてのパッケージサイズで50℃を超えることが判明しました。 従って、Sasol Ethyl Acrylateは周囲温度で出荷することができます。
避けるべき条件	熱、炎、火花。 可燃性物質から遠ざけること。
混触禁止物質	還元剤 酸化剤 アミン アゾ化合物 苛性アルカリ溶液。 過酸化物 ケトン類 無水酢酸 ミネラル酸。 アルデヒド類 チオール。 水酸化カリウム。 水酸化ナトリウム。 無機ハロゲン化物。 過酸化物を含むエーテル。 共役ポリ不飽和酸およびエステル。 窒素 不活性ガス
危険有害な分解生成物	推奨保管条件下では安定。

項目 11. 有害性情報

急性毒性（経口）	Ethyl Acrylate: LD50 ラット: 300 - 2,000 mg/kg; (文献値)
急性毒性（経口）	Ethyl Acrylate: 急性毒性推定値: : 500 mg/kg; 急性推定毒性変換値;
急性毒性（吸入）	Ethyl Acrylate: LC50 ラット: 4 h; 蒸気; 2 - 10 mg/l; OECD 試験ガイドライン 403; 成分/混合物は短時間の吸引後有毒。; (文献値)
急性毒性（経皮）	Ethyl Acrylate: LDLo ラット: 1,000 - 2,000 mg/kg; (文献値)
急性毒性（経皮）	Ethyl Acrylate: LD50 ウサギ: 1,000 - 2,000 mg/kg; (文献値)
急性毒性（経皮）	Ethyl Acrylate: 急性毒性推定値: : 1,100 mg/kg; 急性推定毒性変換値;
皮膚刺激性	Ethyl Acrylate: ウサギ: 刺激性あり; OECD 試験ガイドライン 404 (文献値)
眼への刺激	Ethyl Acrylate: ウサギ: 刺激性あり (文献値)
感作性	Ethyl Acrylate: マキシマイゼーション試験; ヒト: 感作を起す; (文献値)

変異原性	Ethyl Acrylate: Ames 試験: Salmonella typhimurium; 突然変異原性ではない。; (文献値)

項目 12. 環境影響情報

魚毒性	Ethyl Acrylate: 流水式試験; キプリノドンヴァリエガータス; 96 h; LC50; 1 - 10 mg/l; OECD 試験ガイドライン 203; GLP: 該当; (文献値)
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	Ethyl Acrylate: Daphnia magna (オオミジンコ); 48 h; EC50; 1 - 10 mg/l(文献値)
藻類に対する毒性	Ethyl Acrylate: 96 h; ErC50; > 1 mg/l; OECD 試験ガイドライン 201; (文献値)
生分解性	Ethyl Acrylate: 好気性; 活性汚泥、家庭用、非適応; 100 mg/l; > 60 %; 28 d; 易分解性。; OECD 試験ガイドライン 310; (文献値)
土壌中の移動性	データなし
PBT および vPvB の評価結果	物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではありません。 物質は、極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) ではありません。

項目 13. 廃棄上の注意

製品	関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
パッケージング	健康、安全、環境に十分配慮し、責任を持って合法的に製品容器を廃棄してください。

項目 14. 輸送上の注意

DG ピクトグラム

ADR

国連番号:	1917
国連分類:	3
容器等級:	II; F1;
正式輸送品目名:	ETHYL ACRYLATE, STABILIZED

RID

国連番号:	1917
国連分類:	3
容器等級:	II; F1
正式輸送品目名:	ETHYL ACRYLATE, STABILIZED

ADNR

国連番号:	1917
国連分類:	3
容器等級:	II; F1
正式輸送品目名:	ETHYL ACRYLATE, STABILIZED

IMDG

国連番号:	1917
国連分類:	3
EmS:	F-E, S-D
容器等級:	II

正式輸送品目名:	ETHYL ACRYLATE, STABILIZED
海洋汚染物質(該当・非該当)	非海洋汚染物質
ICAO/IATA	
国連番号 :	1917
国連分類:	3
容器等級:	II
正式輸送品目名:	ETHYL ACRYLATE, STABILISED
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当)	Ethyl Acrylate 汚染カテゴリ: Y 船種: 2

項目 15. 適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則 /法律

United States TSCA Inventory	すべての化学成分は次のリストに記載されている： United States TSCA Inventory (章を参照 3)
Canadian Domestic Substances List (DSL)	すべての化学成分は次のリストに記載されている： Canadian Domestic Substances List (DSL) (章を参照 3)
Australia Inventory of Chemical Substances (AICS)	すべての化学成分は次のリストに記載されている： Australia Inventory of Chemical Substances (AICS) (章を参照 3)
New Zealand. Inventory of Chemical Substances	すべての化学成分は次のリストに記載されている： New Zealand. Inventory of Chemical Substances (章を参照 3)
化審法-既存化学物質及び新規化学物質リス	すべての化学成分は次のリストに記載されている： 化審法-既

ト	存化学物質及び新規化学物質リスト (章を参照 3)
日本. ISHL- 安衛法化学物質	すべての化学成分は次のリストに記載されている： 日本. ISHL- 安衛法化学物質 (章を参照 3)
Korea. Korean Existing Chemicals Inventory (KECI)	すべての化学成分は次のリストに記載されている： Korea. Korean Existing Chemicals Inventory (KECI) (章を参照 3)
Philippines Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS)	すべての化学成分は次のリストに記載されている： Philippines Inventory of Chemicals and Chemical Substances (PICCS) (章を参照 3)
China. Inventory of Existing Chemical Substances in China (IECSC)	すべての化学成分は次のリストに記載されている： China. Inventory of Existing Chemical Substances in China (IECSC) (章を参照 3)

項目 16. その他の情報

危険有害性情報の全文

H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H301 飲み込むと有毒。
H311 皮膚に接触すると有毒。
H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319 強い眼刺激。
H331 吸入すると有毒。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H351 発がんのおそれの疑い。
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

All reasonable efforts were exercised to compile this SDS in accordance with the Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS). The SDS only provides information regarding the health, safety and environmental hazards at the date of issue, to facilitate the safe receipt, use and handling of this product in the workplace and does not replace any product information or product specifications. Since Sasol and its subsidiaries cannot anticipate or control all conditions under which this product may be handled, used and received in the workplace, it remains the obligation of each user, receiver or handler to, prior to usage, review this SDS in the context within which this product will be received, handled or used in the workplace. The user, handler or receiver must ensure that the necessary mitigating measures are in place with respect to health and safety. This does not substitute the need or requirement for any relevant risk assessments to

be conducted. It further remains the responsibility of the receiver, handler or user to communicate such information to all relevant parties that may be involved in the receipt, use or handling of this product.
Although all reasonable efforts were exercised in the compilation of this SDS, Sasol does not expressly warrant the accuracy of, or assume any liability for incomplete information contained herein or any advice given. When this product is sold, risk passes to the purchaser in accordance with the specific terms and conditions of sale.

労働安全衛生法
•名称を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

•危険物・引火性の物
（施行令別表第1第4号）

化学物質排出把握管理促進法
• 第1種指定化学物質
消防法
• 第4類引火性液体、第一石油類非水溶性液体
(法第2条第7項危険物別表第1）